

活動助成（2009年度募集）活動実績報告書

団体名	越木岩自主防災会
活動テーマ	『わすれない、あの日を！ そなえよう、越木岩！ 死んだらあかん！』



◎『越木岩防災の日』の活動目的

阪神・淡路大震災を教訓として、地域住民の防災意識の持続と高揚を図るために、毎年実施しています。

◎『越木岩防災の日』の実施方法

隔年毎に《防災訓練》と《防災フェスティバル》を実施。いずれも教育、行政、防災（陸上自衛隊・消防・警察）機関、地域の各種団体の協力参加を得て行っています。

平成22年度は、JR西日本あんしん社会財団からの助成金により、《防災フェスティバル》を実施致しました。内容は、陸上自衛隊・消防・警察の3機関の協働による人命救出訓練展示に始まり、特殊車両搭乗体験（自衛隊・消防はしご車・警察パトカー、白バイ）、各種防災機関装備展示、子ども用制服を着せての写真撮影、防災関連スタンプラリー、防災関連クイズ・ゲーム、消防音楽隊演奏、売店出店等々を行いました。

◎『越木岩防災の日』の成果

16年連続で開催することができ、今回1,600名を超える参加があったことから伺えるように、ややもすれば忘れがちになっている地域住民の防災意識の持続と高揚を保つことができています。

なお、特に3防災機関（陸上自衛隊・消防・警察）に参加協力頂けることは、民間の自主防災組織では至難のことであり、越木岩自主防災会の“実力”をアピールすることも出来ました。